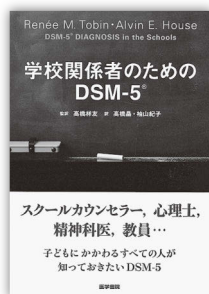


看護者のための 倫理的合意形成の 考え方・進め方

吉武久美子 著
本体 2400 円＋税
医学書院

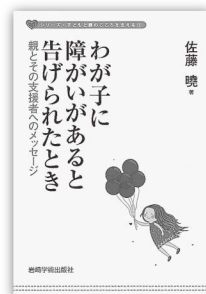
「患者と家族の意見が異なる」「患者の意思が尊重されていない」など、意思決定支援の場面で遭遇する倫理リスク。このままでは倫理的問題が起きそうな予感がある場合、どう対応するのがよいのでしょうか。倫理リスクへの対応力が高められる1冊です。



学校関係者のための DSM-5

R.M. Tobin/A.E. House 原著
高橋祥友 監訳 高橋晶/柚山紀子 訳
本体 3400 円＋税
医学書院

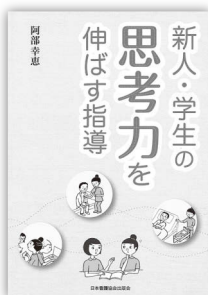
児童・思春期の子どもたちが学校で直面する多様な精神的問題に、どのようなケアを提供できるのか。スクールカウンセラー、心理士、精神科医、教員……子どもにかかわるすべての人が知っておくべきDSM-5の知識を、ベテラン心理士が解説します。



わが子に障がいがあると 告げられたとき 親とその支援者へのメッセージ

佐藤暁 著
本体 1600 円＋税
岩崎学術出版社

30年以上にわたり、さまざまな障がいをもつ子どもとその親たちとともに歩んできた著者による、彼らへの応援メッセージ集です。育児をするうえでの悩みやポイントなど時系列に沿った60項目について、長年の経験と実践をもとに解説します。



新人・学生の思考力を 伸ばす指導

阿部幸恵 著
本体 2000 円＋税
日本看護協会出版会

最終的には「自分の頭で考え実践できる看護師」を育てること。そのために、著者の蓄積された経験から、「アクティブラーニング」「レジネスの把握」「OJTでの指導」「Off-JTでの指導」などについて解説しました。それらはすべて、患者を護ることに繋がります。



子どもが元気になる 在宅ケア

梶原厚子 編著
本体 4600 円＋税
南山堂

小児在宅ケアのエキスパートが在宅医療を担う多職種に向け、子どもの成長、発達を促すかわり、障がいの年齢的变化、その病態、障がい特性などを丁寧に解説しました。さらに、医療的ケアが必要な子どもが地域で暮らすために有用な制度や社会資源も収載しています。



シリーズ臨床の思考 看護実践のアポリア D・ショーン《省察的実践論》の挑戦

ゲーリー・ロルフ 著 塚本明子 訳
ゆみる出版編集部 編
本体 2500 円＋税
ゆみる出版

「実践を形づくるのにもっとも重要で適切な知識は、(中略)自身の実践を省察することから得られる」とするショーンの「省察的実践論」を再考し、「人間科学としての看護」の構築を目指します。看護における理論と実践のズレを埋めるべく取り組んできた、著者の論考集。